

磐田市 桶ヶ谷沼 ビジターセンター

第188号 2020年1月15日 だより



開館時間：午前9時～午後5時（月曜日 休館）

住所：〒438-0016 磐田市岩井315番地

電話：0538-39-3022 FAX：0538-39-3023

E-mail: okegaya-vc@city.iwata.lg.jp



明けましておめでとうございます



この冬もコハクチョウがやってきました。昨年12月18日、鶴ヶ池に2羽が飛来し、マガモなどと共にゆったり過ごす姿が見られました。また、JR 磐田駅南側の大池には12羽が一度に飛来した日もありました。磐田市周辺には、野鳥が安心して過ごせる自然環境がいくつも残っています。こうした環境をこれからも大切に守っていききたいものです。

現在の桶ヶ谷沼の様子

例年よりは沼にいる水鳥の数が少ないようですが、マガモ、オナガガモなどの姿が見られます。カモ類が結婚相手を決めるのは冬。その求愛行動は種類によって違うようです。観察してみてください。



マガモ



オナガガモ



コガモ



ヒドリガモ

菜の花畑は今・・・

菜の花の苗は、冬の間も少しずつ成長していて、1か月前よりも畑の緑色が濃くなりました。



* 万葉集に詠まれた植物 その10 *



しらなみ 白浪の 浜松が枝の手向草

いくよ 幾代までにか年の経ぬらむ

かわしまのみこ 川嶋皇子 (巻一-34)

※「手向草」とは、旅人が旅の安全を願って神に供える品のことで、布、糸、木綿などが用いられる。

歌意：白波の寄せる浜辺。神への供え物の白い布を、かつてこの道を通った人が松の枝にかけたものがそのまま残っている。それがかなりの年を経た古いものであるらしい。一体これはかけられてからどれくらいの年月を経ているのだろうか。

これは、持統天皇が紀州へ行幸した時に、川嶋皇子が詠んだ歌です。

松というのは、マツ科マツ属の植物の総称ですが、ふつう松といえばクロマツかアカマツを指しています。海岸にあるのは関西では全てクロマツです。【参考：万葉植物事典(北隆館)】

桶ヶ谷沼周辺にはアカマツの木がたくさんありましたが、今は少なくなっていました。

* 12月のイベント報告 *

環境にやさしい工作教室 12月15日(日) 9:30~

ミツバチが巣を作る時に出す分泌物を原料にした蜜蝋を温めて加工し、キャンドルを作りました。また、松ぼっくりを緑に着色したものにかざりつけをしてミニクリスマスツリーを作りました。参加者は細かい作業に苦心しながらも個性豊かな作品を作り上げました。

(講師：大石隆示さん)



自然とのふれ合いを

冬の昆虫観察会

2月2日(日) 9:30~11:30 (受付 9:00~)

桶ヶ谷沼周辺の林で越冬している昆虫の観察をします。
野外活動のできる服装で参加してください。

いきもの研究発表会

3月22日(日) 9:30~11:30 (受付 9:00~)

桶ヶ谷沼のトンボや植物などを研究・調査している研究者による研究発表を行います。

※どちらの行事も桶ヶ谷沼ビジターセンター集合です。

今年も様々な行事を予定しています。どうぞご参加ください!

※どなたでも参加でき、参加費は無料です。申し込みは直接または電話、FAXでビジターセンターへどうぞ

